

日華教育學術検討会を香川で開催！



香川県教職員連盟機関誌
発行所：香川県教職員連盟
発行所：矢代 浩己
〒760-0004
高松市西宝町2丁目4番60号
香川教職会館602号
TEL (087) 835-2721
FAX (087) 835-2723
http://www.kakyoren.com/
E-mail: info@kakyoren.com
毎月10日発行 定価1,850円
(年間1,000円 送料と別)
会員の購読費は会費の中に含む

「命の誓い」について日華両国の教師が熱い議論

七月三日（日）、四日（月）、中華民国の教師を招いて日華教育學術検討会が開催された。本検討会では、全日本教職員連盟と台北駐日経済文化代表處が主催で行う交流会である。本年は、中華民国全國教育會の小学校の校長、教師等二十名が来県した。また全日教連・香教連からは二十名の役員、会員が参加した。

日華教育學術検討会



挨拶する矢代委員長

七月三日（日）、四日（月）、中華民国の教師を招いて日華教育學術検討会が開催された。本検討会では、全日本教職員連盟と台北駐日経済文化代表處が主催で行う交流会である。本年は、中華民国全國教育會の小学校の校長、教師等二十名が来県した。また全日教連・香教連からは二十名の役員、会員が参加した。



學術検討会の様子

一方、中華民国全國教育會からは、陳景元・中臺科技大學准教授から「生命教育」と題して発表が行われた。陳氏は、現代の若者が命を軽視する傾向にあること等を指摘し、「生命教育」は生活指導、学習指導、進路指導、相談指導を通じて、日常生活と学級の経営において実施するものである」と発表された。両国の代表の発表の後、道徳の授業における題材の設定等について活発な質疑応答が行われた。通訳を交えた意見交流ではあったが台湾の教育事情について知ることができ、有意義な検討会となった。

表では、さぬき市立志度小学校・安部静代指導教諭が「道徳の時間と教科学習を関連させて指導する『思い合いの心』」と題して発表された。安部指導教諭は「自分のよさを見つければ、相手に対して差別や偏見をもつことなく集団と関わるようにするために、『思い合い』をキーワードに道徳を中心とした総合単元の実践を発表した。



発表する安部指導教諭

中華民国全國教育會は翌四日に、宇多津町立宇多津小学校を訪問した。横山新二校長先生による学校説明を受けた後、体育館で歓迎会が行われた。次に、施設見学や授業参観を行った。その後、各教室に分かれ子供たちと共に給食を食べ、交流を深めることができた。



学校訪問の様子

香川県教職員連盟は、結成四十周年を迎えた子供中心の教育を目指し、健全なる批判力を持つ、香川県内最大規模の教職員団体です。

全日教連第三二回定期大会に参加

六月十二日（日）、都市センターホテルにおいて、全日教連「第三二回定期大会」が開催された。香教連からは、矢代委員長以下七名の会員が出席した。

開会行事では、初めに岩野伸哉・全日教連委員長が、「美しい日本人の心を育てる」という理念のもとに集う私たちは皆が同じ方向を向いている。子供たちのためにやるべきことができる環境さえあれば私たちは最大限の努力を惜しみはしない。これからも全日教連は常に揺るぎなく『子供たちのためになるか』という絶対的価値基準に基づいて、愛しあうと共に迷うことなく前進します」と挨拶した。続いて、文部科学副大臣・義家弘介氏、自民党代表・下村博文氏らが壇上で挨拶をされた。

議事では、高橋勇一郎副委員長（川添小）が運営委員として、会議の運営を支えた。平成二十八年度の運動方針等議案の審議では、評議員が意見を交えながら審議が行われ、全ての議案が採択された。また、専門部では、幼児教育部の安富慶幸教諭（一宮幼）が説明を行った。全ての議事が承認され、定期大会は無事に終了した。



活動方針を提案する安富教諭



運営委員を務める高橋副委員長

五月に行われた全日本教職員連盟第一回専門部会平成二十八年度専門部活動の計画が作られた。全日教連の活動計画を踏まえて、六月十八日（土）平成二十八年度香教連第一回専門部会を開催した。青年部会、女性教職員部会、養護教諭部会、人事対策部会・講師部の四部会に分かれ、本年度の活動目標や活動内容、要望の重点について熱心に討議した。



全体会の様子

青年部では初めに勤務時間について話し合われ、各校が統一されたという意見があった。IC担当教員の負担軽減、全県で統一化したクラウド化、帳簿等の電子化に伴った専門的なスキルをもった支援員が必要なこと、土曜日の教育活動のあり方について議論がなされた。



青年部

女性教職員部では自己紹介の後、今年度の要望事項について話し合った。看護休暇の要件緩和、高学年への専科教員の配置、多忙感の解消により安心な出産・子育てができるような適切な人員配置の必要性等について話し合われた。



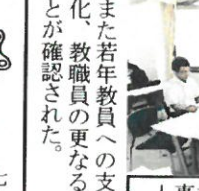
女性教職員部

全日教連専門部会に参加した白川養教部長が、全日教連専門部会での話し合いの内容報告を行った。報告では、健康診断時や養護教諭不在の際の対応の実態から複数配置基準の緩和、養護教諭の研修制度の充実等について話し合われた。



養護教諭部

人事対策部は昨年度的人事異動の成果と課題について話し合った。特別選考の要件の見直しや勤務について、また若年教員への支援体制の一層の強化、教職員更なる増員を要望することを確認された。



人事対策部・講師部

七月三日、四日の両日、中華民国全國教育會教師団を香川にお迎えし、日華教育學術検討会が実施された。会の中で、日本の小学校が教えていることに中華民国側から驚きの声があった。中華民国では、専科教員も充実している等、児童生徒に対して教職員の人数が十分確保されている。国が変われば教育環境も異なっているが子供達のためという思いや願いは万国共通である。二日間の交流の中で私が感じたのは言葉の壁である。伝えたいことはたくさんあるのに、実際に子供たちはためらうことなく話しかけていた。それができなくなるとは、今年度より香教連新聞八月号は休みいたします。

